

岐阜県立高山工業高等学校で防災講座を行いました

令和7年10月23日（木）、岐阜県立高山工業高等学校で1年生90名に防災講座を行いました。この学校での講座は3年目となります。学校は、宮川と苔川（すのりがわ）に挟まれています。

講座では、飛騨地方の水害として、この高山市でも死者・行方不明者3名の被害があった平成16年台風23号や平成26年8月豪雨など過去の水害を学習しました。高山市内には、平成16年台風23号の実績浸水深を表した看板が設置されています。

また、新技術を活用し、VR・映像による浸水の擬似体験やAI語り部との会話を通して伊勢湾台風を学習しました。最後に代表の生徒から「事前の備えと自分ごとに捉えることが大切だと改めて分かりました」と御礼の言葉がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

